

下関市立大学 地域共創研究報告会

地域共創研究とは、本学教員が地域貢献の観点から地域課題を見出し、その課題解決に取り組むことを目的とした研究です。この度、2018（平成30）年度研究の成果報告を下記のとおり開催いたしますので、市民の皆様及び本学学生の多くのご参加をお待ちしております。

※今回の報告は、2年の研究期間のうち1年目終了段階の中間報告です。

【報告】酒蔵を核としたまちづくりと観光の可能性



難波 利光
経済学部 教授

社会資源を活用した酒蔵の観光まちづくりについて考える。研究の対象である兵庫県にある灘の酒は3大酒処の1つである。灘地域は、酒蔵を活用し観光やまちづくりに取り組んでいる。この取組は、神戸市、西宮市、灘五郷酒造組合、阪神電気鉄道株式会社の4つが官民一体となるモデルとして行われている事例である。

歴史のある街が、観光やまちづくりをどのように今後形成していくのかについて、各機関へのヒアリングと歴史的資料を基に考察を行った。そこには、他地域やインバウンドを意識した観光戦略と酒蔵の経営問題を内在した課題を秘めた現状が見えた。



- ◆日時：6月6日(木)
18:30~19:30 (質疑応答含む)
- ◆場所：下関市立大学本館2階 I-206教室
- ◆定員：70名
- ◆参加費：無料
- ◆申込み：不要(団体でのお申込みはご連絡ください)
- ◆駐車場に限りがありますのでなるべく公共交通機関をご利用ください。

■お問合せ 下関市立大学附属地域共創センター

〒751-8510 下関市大学町二丁目1番1号 TEL 083-254-8613 FAX 083-253-1622 E-mail chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp